

編集後記

石田ゆきの実践報告連載が、4つまできました。「看図アプローチ」は、オンラインでも有効であることを示す授業記録がどんどん蓄積されています。学習者を飽きさせないだけではなく、学習者を成長させていく、石田流看図アプローチ授業です。「現場に届ける」という私たちのモットーを体現するわかりやすいまとめになっています。授業参観するくらいの気持ちで石田論文を読んで頂ければ幸いです。

「法学看図アプローチ研究チーム」も活発に研究を続けています。この研究チームができて数ヶ月しか経っていませんが、もう実践研究が始まりました。今回は、東京にいる大山和寿(第1筆者)が授業者です。学習者は福岡にある中村学園大学短期大学部の学生さんたちです。オンライン授業が普及したおかげで、こういう実践も可能になりました。オンライン授業と看図アプローチが結びつくことで教育の可能性も広がりました。今回は保育者養成に役立てる法学看図アプローチ授業の実践です。法学看図アプローチが貢献できる領域はまだまだたくさんあります。今回の実践第一歩から次の一步へ。どのように発展していくか楽しみにして読んで頂ければうれしいです。

3番目の論文著者はアイデアウーマン山下雅佳実です。今度は「多職種連携」です。山下は様々な領域に看図アプローチを持ち込んでばららしい実践をつくり続けています。「多職種連携」も、看図アプローチを使えばとてもスムーズにすすんでいきます。そのことを山下は自らの実践で例証してくれています。サブタイトルにある「ビジュアルテキスト持ち寄り型看図アプローチ語りカフェ」という発想も新しいものです。よく、「看図アプローチを取り入れたいけどビジュアルテキストのつくり方がわからない。どうしたらしいですか?」という質問を受けます。山下実践はその質問に対する答えも示しててくれています。ビジュアルテキストは、教員がつくれなくてもいいのです。学習者がつくってくれたものを「持ち寄って」、それを使えばいいのです。これなら簡単です。こういうアイデアもぜひ現場に届けたいものです。

なお、「ビジュアルテキスト持ち寄り型看図アプローチ語りカフェ」は長崎県央看護学校の先生方との共同実践の中から生まれてきたものです。看図アプローチを実践する先生方の創造的共同体もできつつあります。先生方の創造性も育む看図アプローチをさらに発展させていくつもりです。

文責 鹿内信善

————— 全国看図アプローチ研究会研究誌 8 号 —————

発行年月日 2021 年 7 月 30 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員
石田 ゆき
伊藤 公紀
鹿内 信善 *
萩尾耕太郎
山下雅佳実
渡辺 聰
(* 印は編集代表)

発 行 全国看図アプローチ研究会 
kanzu-approach.com

事務局長 山下雅佳実 (中村学園大学短期大学部)

編集長・DTP 石田ゆき